

普及活動情勢報告（令和6年1月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

有機農業の取り組みに追い風を ～馬路村有機農業検討会～



有機農業検討会の様子

12月21日、馬路村役場で役場、JA馬路村、安芸地域本部、振興センターが集まり、第1回目の有機農業検討会を行いました。

今回は、村が取り組む有機農業産地づくり推進緊急対策事業において、今後の取組方針や内容、組織体制についての話し合いを行いました。農業改良普及課からは、調達・生産についてのワーキンググループを「馬路村有機農業推進協議会」として運営することを提案し、協議の結果、了承されました。

令和6年3月の「オーガニックビレッジ宣言」を目指して、農業改良普及課では、馬路村と連携し事業を通じて有機農業を推進していけるよう支援します。

ぼたなす未来への一歩に向けて ～ひなたぼっこ役員会～



熱心に話し合いをする役員ら

12月27日室戸市日南・大平地区集落活動センター「ひなたぼっこ」は伝統野菜である「ぼたなす」の出荷組合設立に向けて臨時役員会を開催しました。

農業改良普及課室戸支所は、関係機関と連携して「ひなたぼっこ」を中心とした集出荷・販売体制について協議しました。

出荷体制が整って販路が確保できれば栽培面積を拡大したいという生産者の意見も背中を押し、体制整備に動き出しました。

今後も室戸支所は「ひなたぼっこ」の出荷組合設立に向けて支援します。

5年ぶりに開催されました！～県域高知なす部会現地検討会～



現地検討会の様子

1月17日、安芸市で県域高知なす部会現地検討会が開催され、県内の生産者53人が参加しました。

農業改良普及課は、現地検討会で炭酸ガス高濃度施用や下位側枝の摘除の取り組みについて、情報交換会では、厳寒期の増収に向けたハウス内環境の最適化や「PCお竜」の栽培状況について報告しました。

参加者からは、高濃度施用の設定やかん水方法、「PCお竜」の整枝方法、品質についてなどの質問が出され活発な意見交換が行われました。会を通して、県内各産地一丸となって高収量・高品質のナスを栽培していこうという意識が高まりました。

農業改良普及課は、今後もJA等関係機関と連携し、技術の普及や栽培管理技術の確立を行い、ナス産地の発展を支援します。

土づくり・根づくりが肝心！ ～ユズ新規就農者講習会～



土づくりについて
講義する普及指導員

1月18日、JA高知県安芸地区柚子部が「新規就農者講習会」を開催し、生産者13人が参加しました。この講習会は、就農5年目までの生産者を対象に、今年度は年間3回開催しており、今回は「土づくり」をテーマに開催されました。

農業改良普及課は、目指すべき土壌環境や肥料成分の働き等について講義するとともに、新たに作成した家畜ふん堆肥生産マップを配布し、土づくりへの活用を呼びかけました。

参加者からは、「肥料成分の働きについて理解できた。土壌分析をもとに土づくりを行いたい」との声が聞かれました。

農業普及課では、今後も講習会や現地検討会を通じて新規就農者の早期技術習得を支援します。

地域の農地をどうやって守っていきますか？ ～安芸市 地域計画策定に向けた地区座談会～



説明を行う、普及指導員

1月19日、安芸市奈比賀公民館で地域計画策定に向けた地区座談会を開催し、関係機関を含め19名が参加しました。

安芸市から地域計画の概要について、農業改良普及課からは、検討内容について説明を行い、白地図と航空写真を見ながら、農地の利用状況や10年後の意向把握を行いました。

参加者からは、「この農地は売りたい」「地域外からも人を呼び込む必要がある」などの意見が聞かれました。

農業改良普及課では、今後も農地が農地として守られていけるよう、関係機関と連携しながら、支援を行います。